

中部人類学談話会 COP10 特別企画「先住民族の知恵に学ぶ自然との共生」

1月23日 於: 相山女学園大学現代マネジメント学部棟001教室 (地下鉄星ヶ丘駅下車 徒歩5分) 参加費無料

主催: 中部人類学談話会 共催: 愛知県立大学 多文化共生研究所

協力: 朝日新聞社、野外民族博物館リトルワールド

■ 第1部 フォーラム「先住民族と生物・文化多様性」 1:30~3:15

- 山田勇(京都大学名誉教授・日本熱帯生態学会会長) 「世界の森の生態資源と先住民社会の変貌」
- 稲村哲也(愛知県立大学教授) 「山岳地域の生態と先住民族の伝統知」
- 杉藤重信(相山女学園大学教授) 「アボリジニの現在: 環境との共生は可能か」
- 本多正也(「シサム(良き隣人)をめざして」調整委員) 「アイヌ復権にかかわる近年の動向」
- コメント: 結城幸司・福本昌二
- 座長: 稲村哲也(愛知県立大学・多文化共生研究所所長)

■ 第2部 ライブ: ユーカラ&トンコリ演奏 3:30~4:30

● 語り・ユーカラ・歌: 結城幸司

1964年釧路市生まれ。木版画家。「先住民族サミット・アイヌモシリ2008」事務局長。世界先住民族ネットワーク副代表。2000年にアイヌ・アート・プロジェクトを設立し代表を務める。版画、伝統舞踊、ライブ、講演を通して、アイヌ文化復興と提唱活動を行っている。

● トンコリ演奏: 福本昌二

1969年札幌市生まれ。知床ネイチャーガイド。木彫作家。2000年に結城幸司らと共にアイヌ・アート・プロジェクトを結成。全道トンコリ大会で4年連続優勝し、審査員も務める。全国にトンコリを広めながら、ユーカラ語り部のサポートもしている。



<フォーラム演者プロフィール>

● 山田勇 (京都大学名誉教授・日本熱帯生態学会会長)

専攻: 森林生態学。1943年京都市に生まれる。京都大学大学院農学研究科林学専攻博士課程修了(農学博士)。これまで40年間、計114回にわたって世界の森を歩き、生態学的な調査と共に森とその周辺に生活する人々の暮らしの変化を観察してきた。著書に『森と人のアジア』(昭和堂1999)、『アジア・アメリカ生態資源紀行』(岩波書店2000)、『世界森林報告』(岩波書店2006)など多数。

● 本多正也 (「シサム(良き隣人)をめざして」調整委員)

1947年生まれ。愛知県立明和高校出身。早稲田大学で雄弁会に所属し、ベトナム反戦運動、全共闘運動を担う。後に武装解放路線と決別し、市民自治・人権・環境をめぐる「新しい社会運動」を進めてきた。先住民族アイヌと連帯し、市民グループ「シサムをめざして」の調整委員を務める。主な著書に、『新左翼運動40年の光と影』(共著、新泉社)、『グローバルな市民社会と社会主義のメタモルフォーゼ』(グラムシ没後70周年記念シンポ報告集所収)、『「先住民族の10年」とアイヌ民族連帯』監修(「グループシサムをめざして」発刊)など。